



REUTERS/Bogdan Cristel

研究戦略立案・評価のための研究力分析の総まとめ ～新しいInCitesを使った分析手法から事例まで～

トムソン・ロイター
学術情報事業

広瀬容子・松下豊・鳴島弘樹・Jon Stroll
司会進行：甲斐真佐美

2014年9月18日（木）
【第4回URAシンポジウム・第6回RA研究会】



THOMSON REUTERS

はじめに - URAと研究分析

第一部：研究戦略の立案・評価・分析の手法と事例

第二部：学内の研究データのマネジメントの手法と事例

はじめに - URAと研究分析 URAのみなさまのニーズ・ご要望

研究者個人に関するもの

- ✓ 大学内の研究者の論文を一覧化し、パフォーマンスを調査したい
- ✓ これから伸びる若手の研究者を探し、支援したい
- ✓ 大型の科研費・プロジェクトを取りにいける研究チームを学内で構成させたい

大学全体の研究力に関するもの

- ✓ 大学の研究力の特徴を分野別に可視化したい
- ✓ 科学技術政策研究所（NISTEP）の「大学ベンチマーキング」について、学内から解釈・説明を求められた

Web of Science / InCitesの活用



はじめに - URAと研究分析 大学ランキングにおける順位向上

6. (2) 国際水準の教育研究の展開

- ▶ 海外大学のユニット誘致による領域横断的共同カリキュラムの構築、国際共同大学院の創設、外国人教員の積極採用並びに英語による授業の拡大、多様な国、地域からの留学生の積極的な受入れ及び日本人学生の海外派遣の促進等に取り組む
- ▶ 文部科学省では、上記のような国際化を断行する大学を重点的に支援し、**スーパーグローバル大学を創設**するなど、国際的存在感を高める

○世界大学ランキングの状況

Times Higher Education [World University Rankings] (2013年10月発表)						QS [World University Rankings] (2013年9月発表)							
順位	(総合評価への寄与度)	教育 30.0%	国際 7.5%	産学連携 2.5%	研究 30.0%	論文引用 30.0%	1	2	3	4	5	6	
1	カリフォルニア工科大学	94.4	85.8	91.2	98.2	99.8	マサチューセッツ工科大学	100	100	99.7	100	97.6	96.3
2	オックスフォード大学	89.0	90.2	90.3	98.5	95.4	ハーバード大学	100	100	100	99.3	94.1	85.3
2	ハーバード大学	93.9	66.2	40.6	98.5	99.1	ケンブリッジ大学	100	100	95.8	99.6	95.5	96.0
23	東京大学	84.7	29.6	56.7	88.0	69.8	東京大学	100	99.3	78.3	91.4	11.1	27.3
52	京都大学	69.5	27.5	78.7	69.5	58.2	京都大学	99.9	92.1	68.4	94.8	18.5	22.9
100	ヨーク大学	31.7	73.6	33.3	33.2	89.4	大阪大学	91.7	80.5	57.7	83.2	14.9	19.9
125	東京工業大学	52.4	32.1	67.5	51.4	52.0	東京工業大学	79.8	84.8	78.3	76.8	15.0	35.1
144	大阪大学	52.5	27.6	71.2	47.6	50.4	東北大学	81.8	76.0	54.9	87.9	18.5	21.2
150	東北大学	51.8	28.3	85.9	48.1	47.3	名古屋大学	72.3	64.7	57.0	94.1	21.8	28.8

- 【評価指標】
- ①教育（研究者による評価、教員当たり学生数、等）
 - ②国際（外国人教員比率、外国人学生比率、等）
 - ③産学連携
 - ④研究（研究者による評価、等）
 - ⑤論文引用

外国人教員の増加、外国人留学生の受入れ拡大など、大学の徹底した国際化が課題

- 【評価指標】
- ①世界各国の学者による評価
 - ②世界各国の雇用者による評価
 - ③教員一人あたり論文引用数
 - ④学生一人あたり教員比率
 - ⑤外国人教員比率
 - ⑥留学生比率

今後10年で世界大学ランキングトップ100に10校ランクイン

altmetrics

altmetrics: a manifesto

WE CAN READ EVERYTHING. We rely on filters to make sense of the scholarly literature, but the narrow, traditional filters are being swamped. However, the rise of new, online scholarly tools allows us to make new filters; these filters reflect the broad, rapid impact of scholarship in this burgeoning era. We call for more tools and research based on altmetrics.

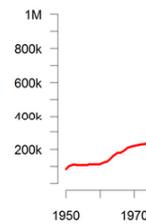
As the volume of academic literature explodes, scholars rely on filters to select the most relevant and significant sources from the rest. Unfortunately, the traditional filters' three main filters for importance are failing:

Peer-review has become an overvalued scholarship filter, but is beginning to lose its relevance. It is slow, discourages innovation, and fails to hold reviewers accountable. Moreover, even though most papers are eventually published somewhere, peer-review fails to limit the volume of search.

Citation counting measures are useful, but not sufficient.

Metrics like the h-index are even slower than peer review. Citation measures are narrow; influential work can take years to be cited.

MEDLINE-indexed articles published per year



about

What's altmetrics?

Tools

Media

Press

Tweet #altmetrics

call for papers

The Altmetrics Collection

A PLOS One Collection

resources

- altmetrics @Mendeley
- altmetrics @Google Groups
- altmetrics @FriendFeed
- altmetrics @LinkedIn

Leiden Ranking



出典：文部科学省 / 国立大学改革プラン

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2013/12/18/1341974_01.pdf

はじめに - URAと研究分析 研究大学強化促進事業

このため、以下の状況に着目した10の指標により、各大学等の研究活動の状況を測る。

(1) 若手研究者を含む数多くの研究者により、質の高い研究がなされているか
(競争的資金等の獲得状況から見た研究競争力の状況)

- 1-1 科研費の研究者当たりの採択数
- 1-2 科研費の若手種目の新規採択率
- 1-3 科研費の研究者当たりの配分額
- 1-4 科研費「研究成果公開促進費(学術図書)」の採択数
- 1-5 拠点形成事業の採択数
- 1-6 戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)の採択数

(2) 国際的に質の高い論文等を生み出す研究がなされているか
(国際的な研究成果創出の状況)

- 2-1 論文数におけるTOP10%論文数の割合(Q値)
- 2-2 論文数における国際共著論文の割合

(3) 研究成果の社会への還元がなされているか
(産学連携の状況)

- 3-1 研究開発状況(民間企業との共同研究・受託研究受入実績額及びこれまでの伸び率)
- 3-2 技術移転状況(特許権実施等収入額及びこれまでの伸び率)

Top 10%論文の割合

国際共著論文の割合



はじめに - URAと研究分析 スーパーグローバル大学創成支援

【共通観点4】－構想実現のための体制構築

構想を推進し実現できるだけの学内体制の整備が計画されているか。環境の変化に応じ自己変革できる体制を構築できているか。また、事業終了後も継続して取り組むものとなっているか。

【個別観点A-1（タイプAのみ）】－国際的評価の向上

国際的評価の向上につながる取組となっているか。

【個別観点A-2（タイプAのみ）】－国際的評価に関する教育・研究力

国際的評価において上位に入るだけの教育・研究力を有しているか。なお、(2)については、大学からの提出によらずに外部の客観的なデータによるものとする。

(1) 国際的評価

① 国際的評価にて強みのある分野の有無

(2) 研究成果等の創出状況

① 論文の被引用状況

② 論文の国際共著状況

③ 共同研究及び受託研究の実績状況

※1 (2) ①及び②について、自然科学系は科学技術政策研究所報告「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2011」（2012年8月）の公表データを、人文社会科学系についてはトムソン・ロイター社のInCites提供データによるものとする。

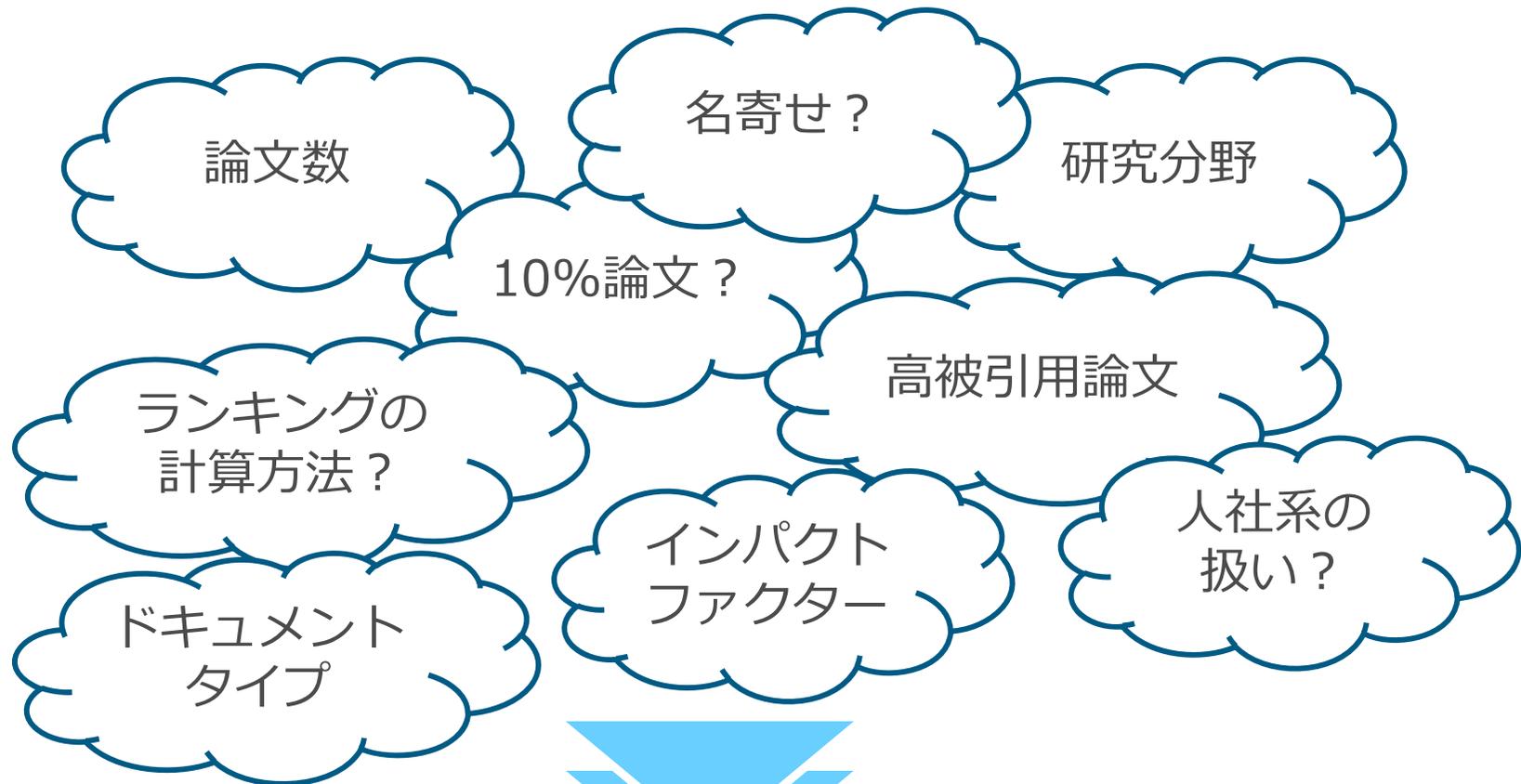
被引用状況

国際共著状況



はじめに - URAと研究分析

多くの論文に関する指標・増える分析業務



データと分析手法の正しい理解が必要



はじめに - URAと研究分析 RAシンポジウムと弊社セッション

2012年

URAのためのWeb of Science/InCites活用講座

データベースの基礎・使い方を復習

2013年

InCitesの限界を超えて
-先端融合領域・国際化・若手支援-

データベースでの検索を超えたソリューションの案内

2014年

研究戦略立案・評価のための研究力分析の総まとめ

お昼を食べながらの短いセッション



はじめに - URAと研究分析 2014年の本セッションのゴール

- 研究分析に関してよく頂くご質問にお答えし、分析を行う際に知っておくべきデータの基礎についてマスターしていただく
- 実際の分析シーンを想定し、研究力分析の手法・重要ポイントをご理解頂く
- 新しく着任されたURAの方はもちろん、これまで各種DBを駆使されてきた方にも、新しいInCites B&Aを使った研究分析のステップや注意点を知り、業務にご活用頂く

「今日から使える」 URAのための必須セッション



はじめに - URAと研究分析

第一部：研究戦略の立案・評価・分析の手法と事例

1. 研究評価・分析の基礎
2. 新しいInCitesを使った研究戦略の立案・分析例

第二部：学内の研究データのマネジメントの手法と事例

2. 研究評価・分析の基礎

Web of Science ®

- Web of Scienceは多くの大学図書館で導入頂き、研究者の研究情報検索に使われてきた引用文献データベース
- 下記のような理由から研究業績の評価や公開にも適している
 - **幅広い分野の一流ジャーナル**を網羅的に収録している
 - **1900年からの引用情報**を持っている
 - 全論文に対し、**全ての著者と著者所属**を収録している
 - 研究情報の**グローバルスタンダード**として様々な調査に活用される



各分野のコアジャーナル約12,000誌と会議録情報
(120,000会議)を収録(2012年4月現在)
5460万レコードを収録(2013年6月現在)

ジャーナル選定基準:

<http://ip-science.thomsonreuters.jp/mjl/criteria/>



2. 研究評価・分析の基礎

Web of Science Core Collectionのカバレッジ

- Web of Science Core Collectionは幅広い分野の一流国際誌を収録した論文検索を行うデータベースである
- 3 files = (SCIE, SSCI, A&HCI)
- 5 files = 3 files + CPCI-S/SSH

Arts & Humanities Citation Index (A&HCI)

人文科学 1975年～現在

社会科学 1900年～現在

自然科学 1900年～現在

Science Citation Index Expanded (SCIE)

Social Sciences Citation Index (SSCI)

収録誌数：約12,000誌
レコード数：約55,000,000件

• 会議録 1990年～
自然科学(CPCI-S)
社会科学(CPCI-SSH)

• 専門書 2005年～
自然科学・社会科学



2. 研究評価・分析の基礎

研究成果分析に用いるデータの条件

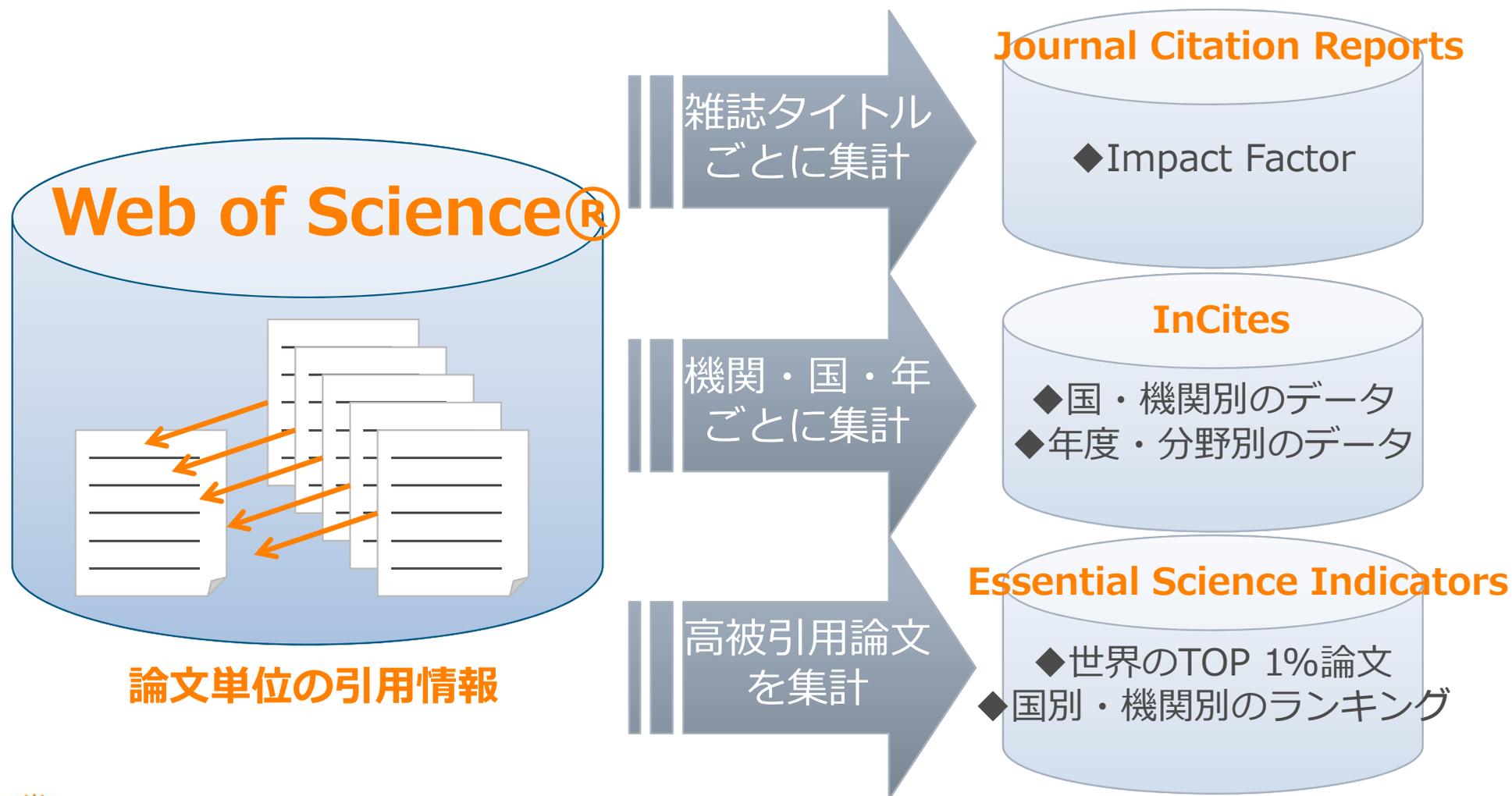
- 厳選された国際ジャーナルである
 - 高品質のジャーナルに掲載される = 質の保証
 - データがきちんと索引されている
 - 著者名が全て索引されている = 共著者の分析ができる
 - 著者の所属が全て索引されている = 共同研究機関の分析ができる
 - 論文データにドキュメントタイプ・分野が付与されている
 - 引用情報がある
 - 何回引用されているか
 - どこから引用されているか
 - 他と比較して多いか、少ないか
 - 他大学と比較するには、所属機関が全て索引されている必要がある
-
- ◆それが「全て」では無い
 - ◆あくまでもピア・レビューの補完資料であることを認識して使う
 - ◆ひとつの分析指標に頼らないことが重要である



2. 研究評価・分析の基礎

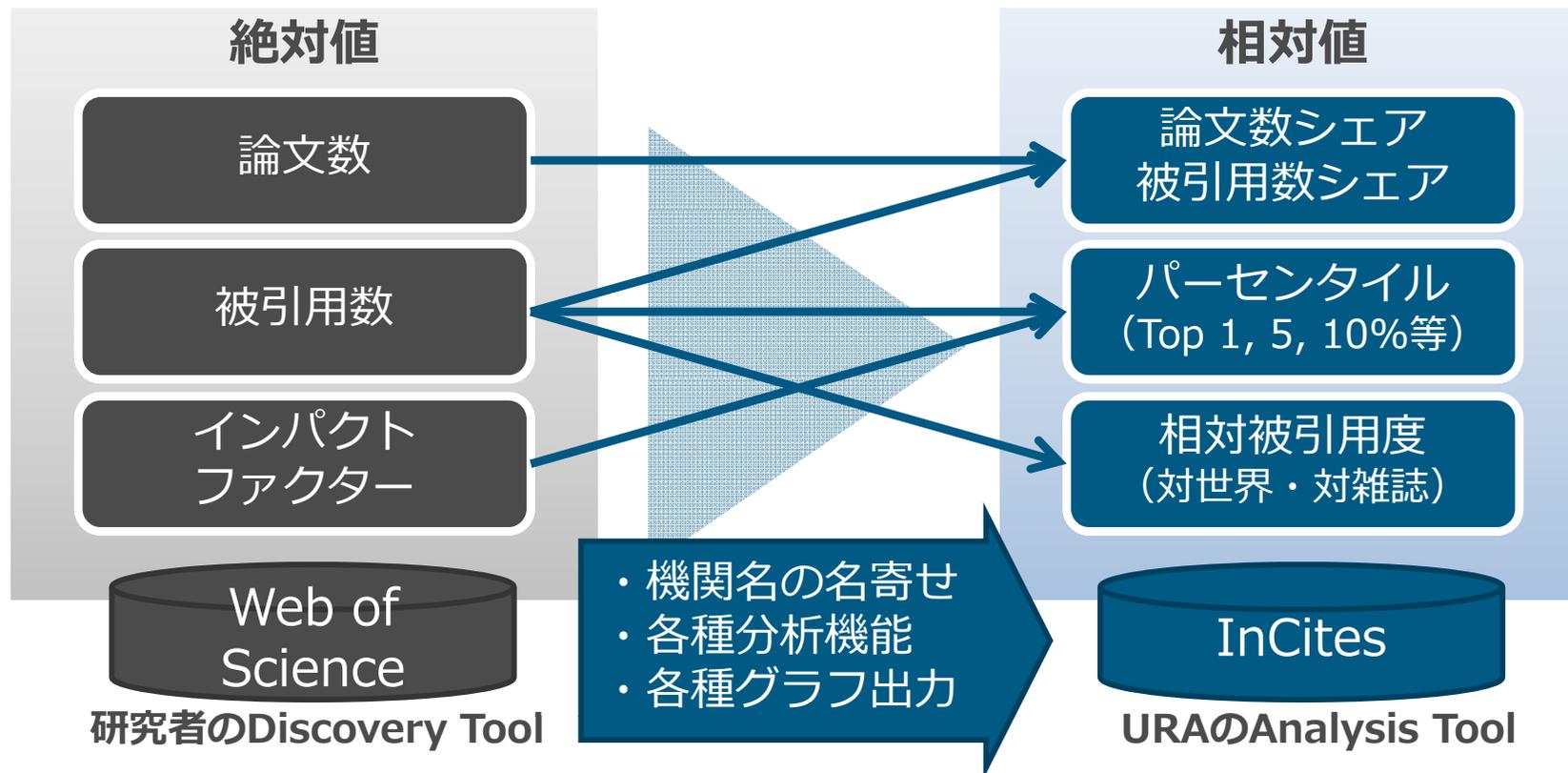
Web of Scienceを集計した各種データ

- Web of Scienceを元に様々なデータを集計・提供している



2. 研究評価・分析の基礎 絶対値から相対値へ

- 絶対値の分析から、出版年・分野・ジャーナル等を加味した相対値での分析へ
- 研究者向けデータベースWeb of Scienceから分析に適したベンチマークスコアやグラフ・絞り込み機能を持ったInCitesへ



2. 研究評価・分析の基礎

相対的指標の例

- 特定分野における論文数（シェア）
 - 当該分野における論文数（シェア）を示し、当該分野における活動度合いが表されている
 - ✓ シェアは当該分野における世界に対する対象機関の論文数シェアを表し、分野による規模の違いを考慮する場合に有効である
- 特定分野における相対的な平均被引用数（相対被引用度）
 - 特定分野、特定年（期間）において対象機関が発表した総論文の平均被引用数を同分野、年（期間）の世界の平均値で除した値であり、1が平均と等しくなる
 - 当該分野での論文の知名度や注目度の高さが表されている

相対被引用度の計算例：分野Xにおける研究アウトプット（2007-2011）

	A大学	世界全体
論文数	80報	100,000報
被引用数	2000回 (上記80報について)	2,000,000回 (上記100,000報について)
平均被引用数	25回／報	20回／報


$$\begin{aligned} \text{相対被引用度} &= 25 / 20 \\ &= \underline{1.25} \end{aligned}$$



2. 研究評価・分析の基礎

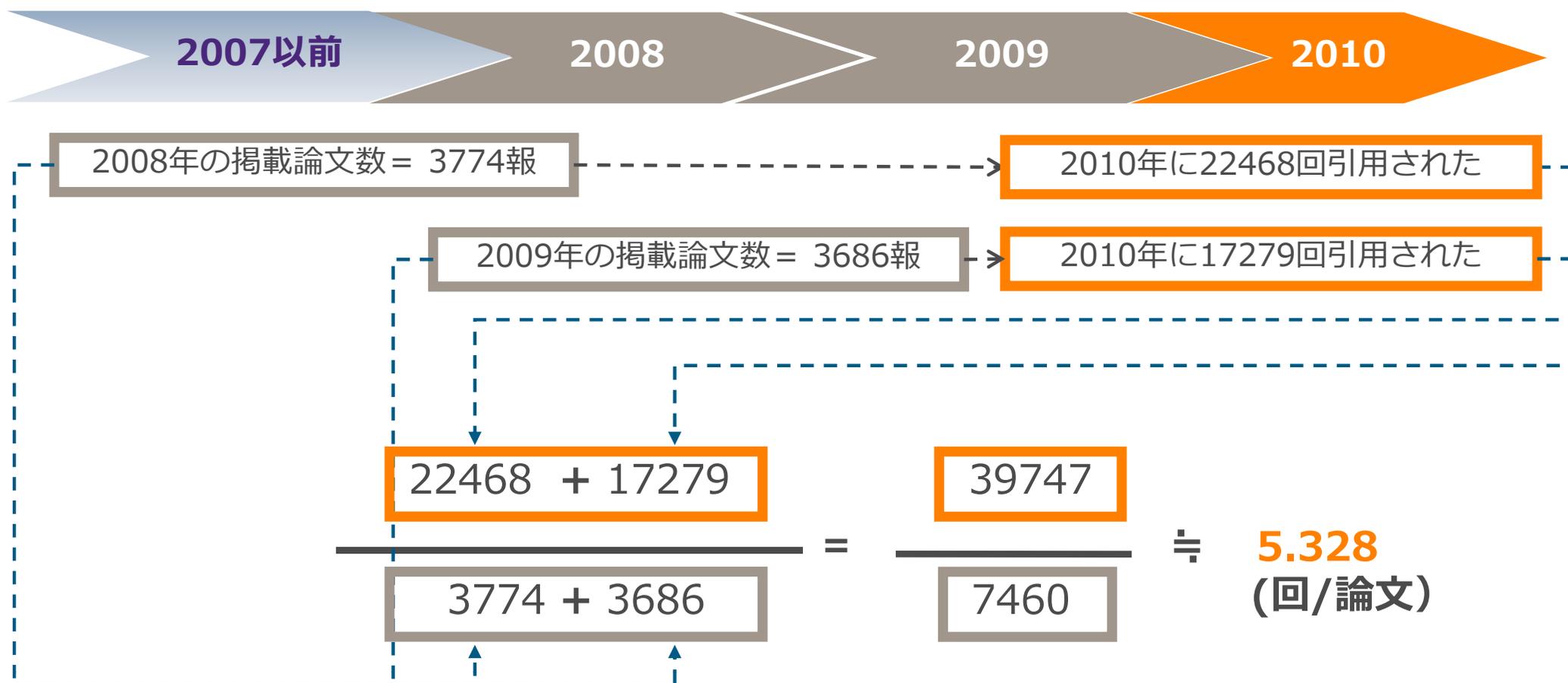
Baseline – Percentileの考え方

RESEARCH FIELD	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
MATERIALS SCIENCE										
0.01%	1,302	2,223	1,028	1,401	1,264	770	828	396	190	
0.10%	439	402	399	365	345	297	239	149	83	
1.00%	137	138	120	114	98	86	71	50	29	
10.00%	34	33	30	29	25	22	18	13	8	
20.00%	19	19	18	17	15	14	11	8	5	
50.00%	6	5	6	6	5	5	4	3	2	
MATHEMATICS										
0.01%	769	404	545	284	266	239	137	100	45	
0.10%	196	156	138	121	109	83	61	41	22	
1.00%	65	58	50	45	39	31	24	16	9	
10.00%	19	17	15	14	12	10	8	5	3	
20.00%	11	10	9	8	7	6	5	3	2	
50.00%	4	4	3	3	3	2	2	1	1	
MICROBIOLOGY										
0.01%	1,144	1,328	582	1,159	572	519	397	262	255	
0.10%	461	538	387	315	307	250	198	109	63	
1.00%	207	191	169	132	123	106	78	47	26	
10.00%	67	61	54	48	39	33	26	17	9	
20.00%	44	40	35	31	26	22	17	11	6	
50.00%	19	18	15	14	11	9	7	5	3	



2. 研究評価・分析の基礎 インパクトファクターの算出方法

.....
【例】 JOURNAL OF BIOLOGICAL CHEMISTRY の
2010年版インパクトファクター=5.328がどのように計算されているか



2. 研究評価・分析の基礎 各種 相対値・ベンチマークスコア

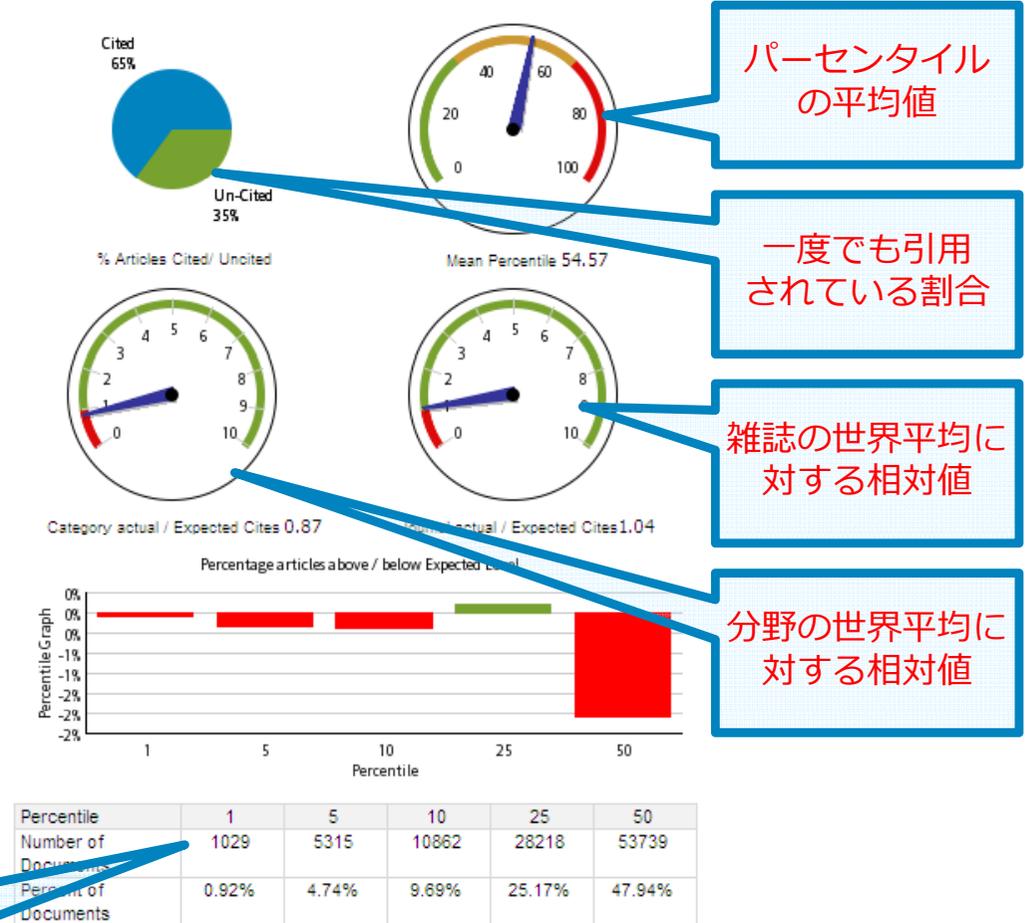
- 大学・学部・研究者・論文単位での相対的分析を行う際に、
下記のような指標を付与（赤字はWeb of Scienceには無い指標）

Citation Metrics	
Times Cited	1,301,537
Web of Science Documents	158,135
Cites per Document	8.23
h-index	229
Median Cites	2
2nd Generation Citations	19,867,804
2nd Generation Citations per Citing Document	25.50
Disciplinary Metrics	
Disciplinary index	0.01
Interdisciplinarity index	0.97
Collaboration Metrics	
Unique Authors	141,473
Average Authors per Document	3.30
Unique Institutions	29,047
Average Institutions per Document	1.89
Average Countries/Territories per Document	1.45

論文数・被引用数・
2次被引用・h-index

分野の広がり
を示す指標

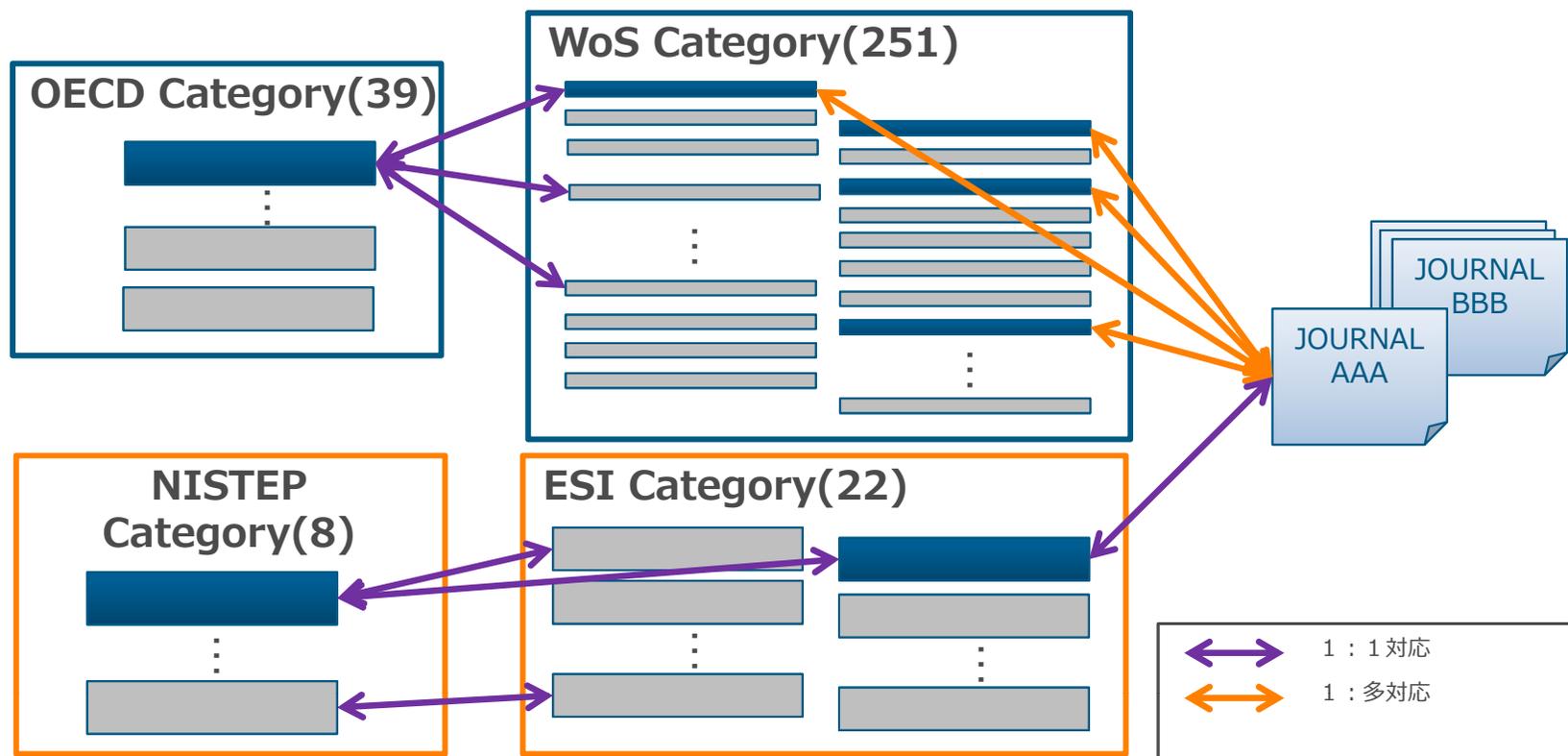
共著者・共著国に
関する指標



分野内TOP1%
(5,10,25) 論文
数

2. 研究評価・分析の基礎 各種分野の関係

- 各種分野は論文の内容ではなく、ジャーナルによって定義
- WoS分野が1ジャーナル複数分野（最大6分野）に対応しているのに対し、ESI分野は1ジャーナルが1分野に対応しており、WoS分野とESI分野の対応関係は無い



2. 研究評価・分析の基礎

科学技術・学術政策研究所使用分野とESI分野

NISTEP 分野	Essential Science Indicators 分野
化学	Chemistry
環境・地球科学	Environment/Ecology Geosciences
基礎生命科学	Agricultural Sciences
	Biology & Biochemistry
	Immunology
	Microbiology
	Molecular Biology & Genetics
	Neuroscience & Behavior
	Pharmacology & Toxicology
Plant & Animal Science	
計算機・数学	Computer Science Mathematics
工学	Engineering
材料科学	Materials Science
物理学	Physics
	Space Science
臨床医学	Clinical Medicine
	Psychiatry/Psychology
NISTEP分野外	Economics & Business
	Social Sciences, general
	Multidisciplinary

はじめに - URAと研究分析

第一部：研究戦略の立案・評価・分析の手法と事例

1. 研究評価・分析の基礎
2. 新しいInCitesを使った研究戦略の立案・分析例

第二部：学内の研究データのマネジメントの手法と事例

3. 新しいInCitesを使った研究戦略の立案・分析例 研究力分析のステップ

① 現状の把握、課題の把握



② ミッションに基づく目標設定

③ 目標を達成するための評価項目を抽出



④ 評価項目に対する具体的な指標基準を設定



3. 新しいInCitesを使った研究戦略の立案・分析例 目的に応じた研究分析のポイント

- ◆ **相対比較により「競争力」をみる**
- ◆ **世界水準と比較する**
- ◆ **論文数から研究の「生産性」をみる**
- ◆ **被引用数を用いて、研究の「インパクト」をはかる**
- ◆ **研究の「効率性」をはかる**
- ◆ **時系列データを用いて、生産性、効率性の傾向を分析する**
- ◆ **高被引用論文の数で研究の「卓越性」をみる**



実際のInCites B&A
を使ったDEMOへ！



InCites Benchmarking & Analytics (B&A)

- **グラフが見やすく**、種類が豊富
- 結果（論文件数）をクリックすると、**Web of Scienceの論文データ**につながる
- 出力条件設定の**自由度が高い**
- **簡単に出力**できるレポートも充実
- ダウンロード結果が扱いやすく、速い
- **保存機能**・**メール送付機能**を強化
- 論文データ以外にも**大学のプロフィールデータ**・**ランキングデータ**・**ニュース情報**をタイムリーに更新

InCites B&A - Dashboard

- Dashboard メニューにて自身が保存したレポートを閲覧

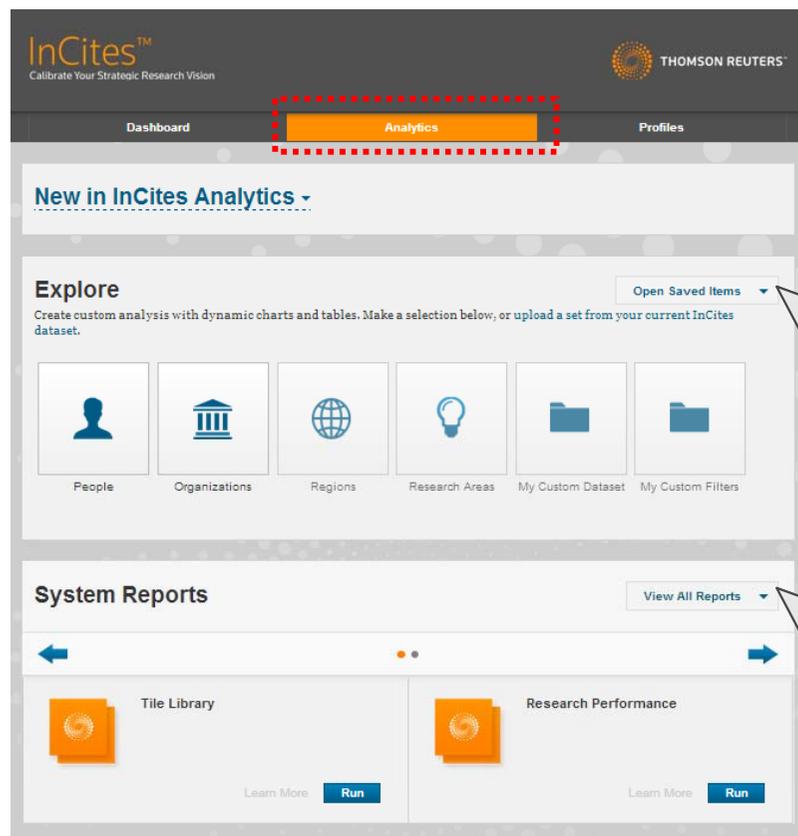


自身で作成したレポートの最新版をいつでもワンクリックで閲覧

ダウンロード・メール送付・印刷が可能

InCites B&A - Analytics

- Analytics メニューにて各種レポートを作成



Explore

自身で条件を設定し
各種レポートを作成

System Reports

予め作成されたレポートを
ワンクリックで出力

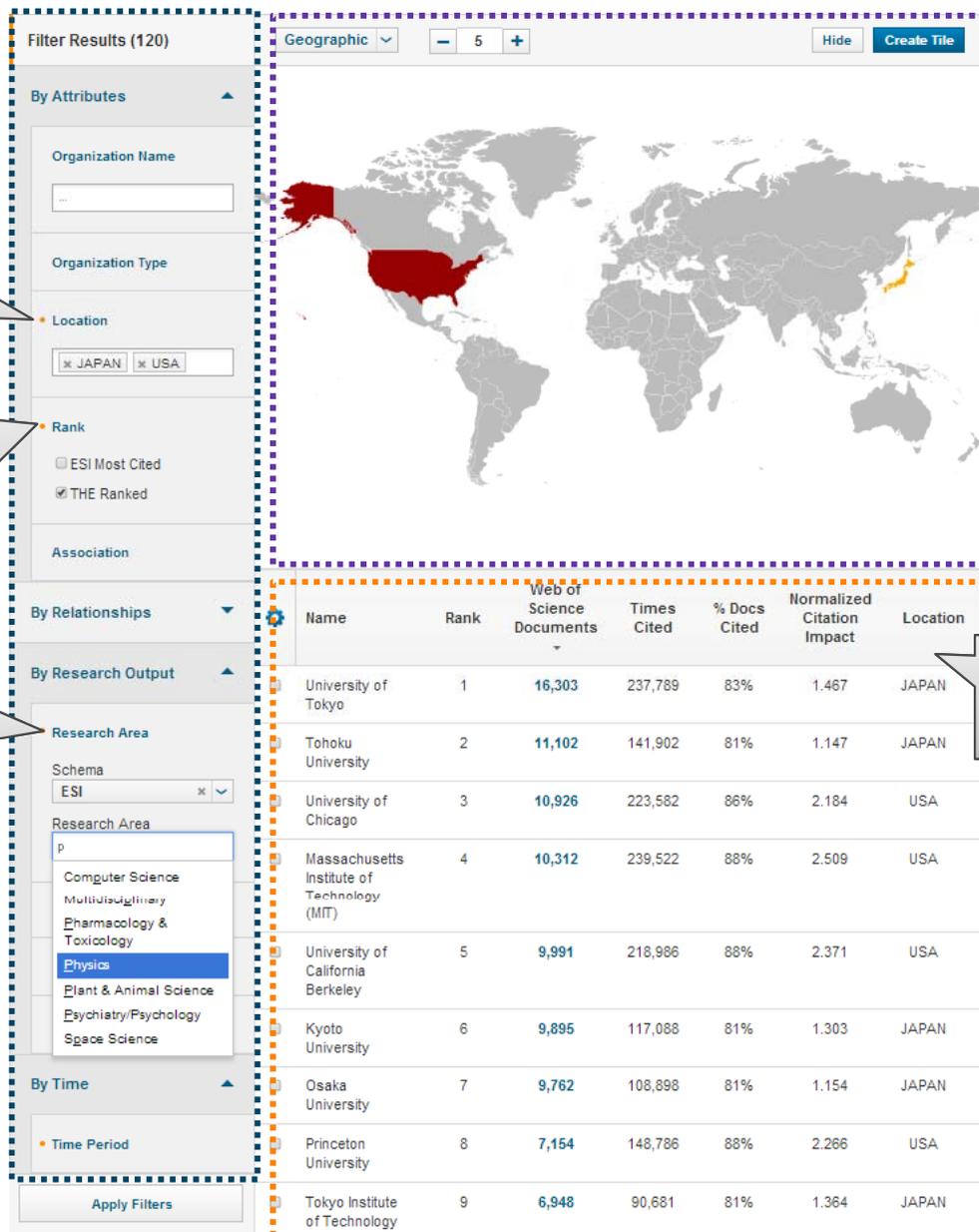
InCites B&A Analytics Exploreレポート作成例

条件設定
フィルター

JapanとUSAの

THE世界大学ラン
キングの400位以
内にランクイン
している

ESI22分野の
Physics分野



グラフ表示
エリア

被引用数が多い順
にランキング

結果表示
エリア

InCites B&A Analytics Explore条件設定フィルター

条件設定 フィルター

Filter Results (120) Geographic 5 + Hide Create Title

By Attributes

- Organization Name
- Organization Type
- Location
 - JAPAN
 - USA
- Rank
 - ESI Most Cited
 - THE Ranked
- Association

By Relationships

- Name
- University of Tokyo
- Tohoku University
- University of Chicago
- Massachusetts Institute of Technology (MIT)
- University of California Berkeley
- Kyoto University
- Osaka University
- Princeton University
- Tokyo Institute of Technology

By Research Output

- Research Area
 - Schema: ESI
 - Research Area: Physics
 - Computer Science
 - Multidisciplinary
 - Pharmacology & Toxicology
 - Plant & Animal Science
 - Psychiatry/Psychology
 - Space Science

By Time

- Time Period

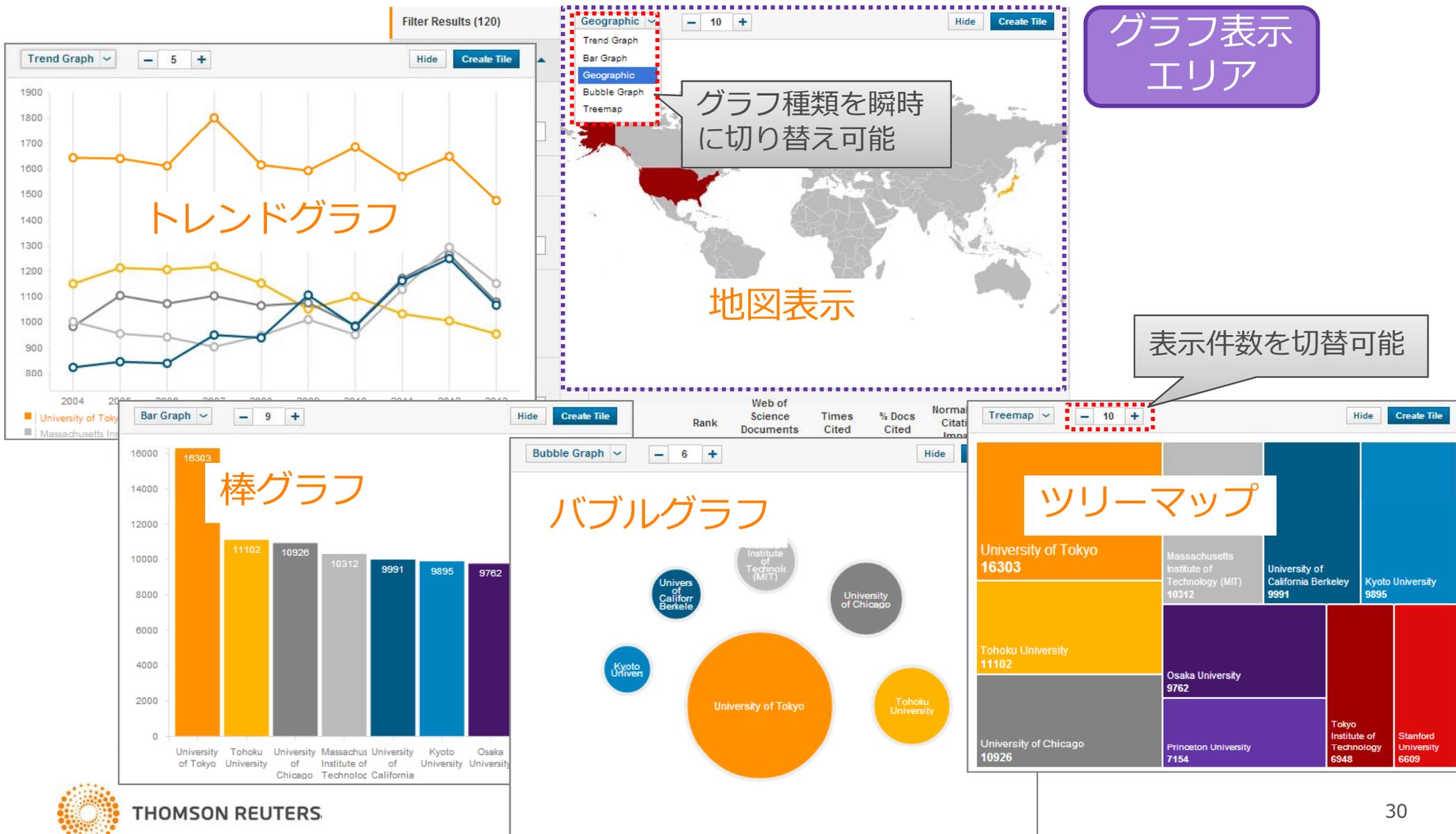
Apply Filters

条件設定が出来るフィールド

- Organization Name : 機関名
- Organization Type : 大学 / 研究所 / 企業
- Location : 国・エリア
- Rank : ESI収録・THEランキング
- Association : グループ : 日本-国立大学, RU11等
- Collaboration with : 共著機関
- Research Area : 分野・WoS/ESI
- Document Type : ドキュメントタイプ
- Journal : ジャーナル
- Open Access : オープンアクセス
- Time Period : 機関

他多数

InCites B&A Analytics Explore グラフ表示エリア



グラフ表示
エリア

グラフ種類を瞬時に切り替え可能

地図表示

表示件数を切替可能

ツリーマップ

InCites B&A Analytics Explore結果表示エリア

The screenshot displays the InCites B&A Analytics Explore interface. On the left, there are filter panels for 'By Attributes', 'By Relationships', 'By Research Output', and 'By Time'. The 'Filter Results (120)' section shows a 'Geographic' dropdown and a map of the world. The 'By Attributes' panel includes filters for Organization Name, Organization Type, Location (JAPAN, USA), Rank (ESI Most Cited, THE Ranked), and Association. The 'By Relationships' panel has a gear icon. The 'By Research Output' panel includes a 'Research Area' dropdown (ESI) and a list of research areas. The 'By Time' panel includes a 'Time Period' dropdown. The main table shows a list of organizations with columns for Name, Rank, Web of Science Documents, Times Cited, % Docs Cited, Normalized Citation Impact, and Location. A 'Manage Indicators' dialog box is open, showing a list of selected indicators: Organization Name, Rank, Key Performance Indicators (Web of Science Documents, Times Cited, % Documents Cited), and Normalized Citation Impact. A blue arrow points from the 'Organization Name' filter to the 'Organization Name' indicator in the dialog. A callout box points to the 'Done' button in the dialog, stating '出力したい指標の再設定が可能' (It is possible to reconfigure the indicators you want to output). Another callout box points to the 'University of Tokyo' row in the table, stating '項目名をクリックすると並べ替え' (Clicking the item name sorts the table).

Name	Rank	Web of Science Documents	Times Cited	% Docs Cited	Normalized Citation Impact	Location
University of Tokyo	1	16,303		83%	1,487	JAPAN
Tohoku University	2	11,111				
University of Chicago	3	10,101				
Massachusetts Institute of Technology (MIT)	4	10,312	239,522	88%	2,509	USA
University of California Berkeley	5	9,991	218,986	88%	2,371	USA
Kyoto University	6	9,895	117,088	81%	1,303	JAPAN
Osaka University	7	9,762	108,898	81%	1,154	JAPAN
Princeton University	8	7,154	148,786	88%	2,266	USA
Tokyo Institute of Technology	9	6,948	90,681	81%	1,364	JAPAN

結果表示
エリア

InCites B&A Analytics Exploreタイルの作成



Create Title

Title
Physics

Subtitle
Japan-USA THE Ranked

Notes
THE Rankされた日米大学の物理の
推移

タイトルの名前や説明
を自身で作成



InCites B&A Analytics System Reports

- 現在は3種類（Tile Library/ Research Performance/ Collaboration）を収録（レポート種類拡大予定）
- 機関名を入力するとレポートを出力

機関名をタイプすると候補名が出る

Collaborating Countries/ Territories: Web of Science Documents University of Tokushima

Collaborating Countries by Subject Area: Web of Science Documents University of Tokushima

BIOCHEMISTRY & MOLECULAR BIOLOGY	7	8	72	7	0	414	5	4	21	10
PHARMACOLOGY & PHARMACY		2	22	5	1	253	3	1	29	
ONCOLOGY	1	5	34	2	12	245	2	1	10	4
CELL BIOLOGY	3	3	65	3	2	182	2	3	7	13
	3	4	34	1	8	192	3	3	3	7

クリックすると詳細を表示
View Tile Data :
元データの一覧を表示
Save to Dashboard :
ダッシュボードに保存

Collaborating Countries/ Territories: Web of Science Documents Kyoto University

Collaborating countries ranked by co-authored documents. (2008-2012) (Web of Science: SCIE, SSCI, A&HCI)

View Tile Data

View Tile Data

Annotations

Enter an annotation

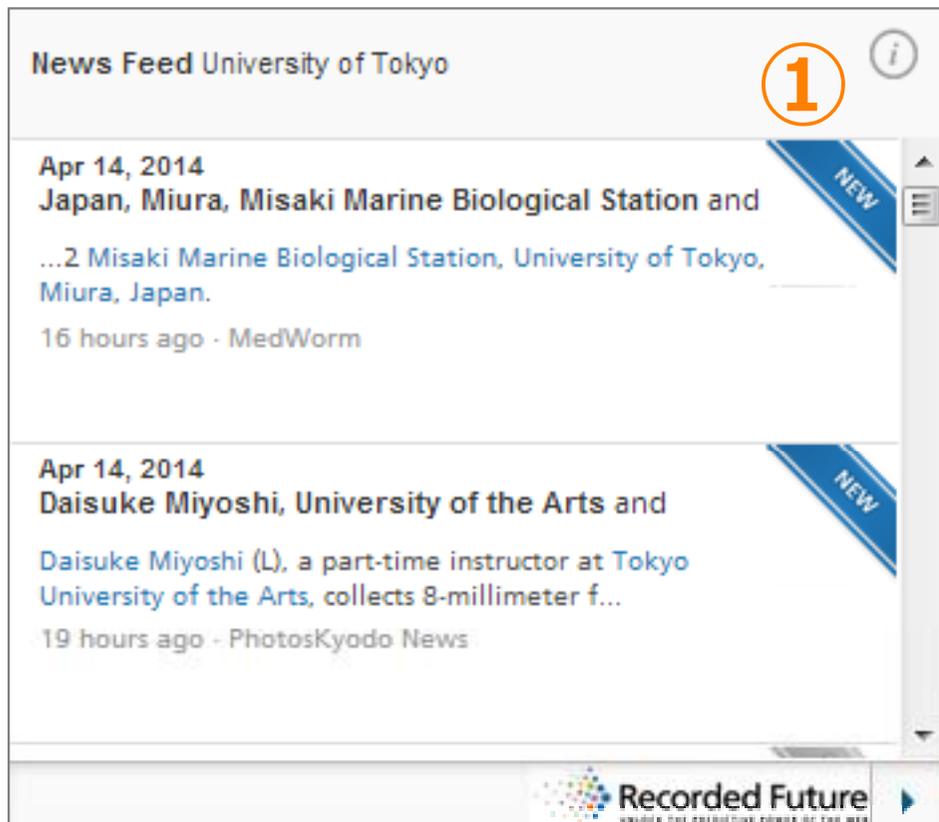
Save To Dashboard



InCites B&A

新しく加わったRecorded Future

- ① 大学（研究機関）名によるNews Feed機能
- ② 研究キーワードによるNews Feed機能

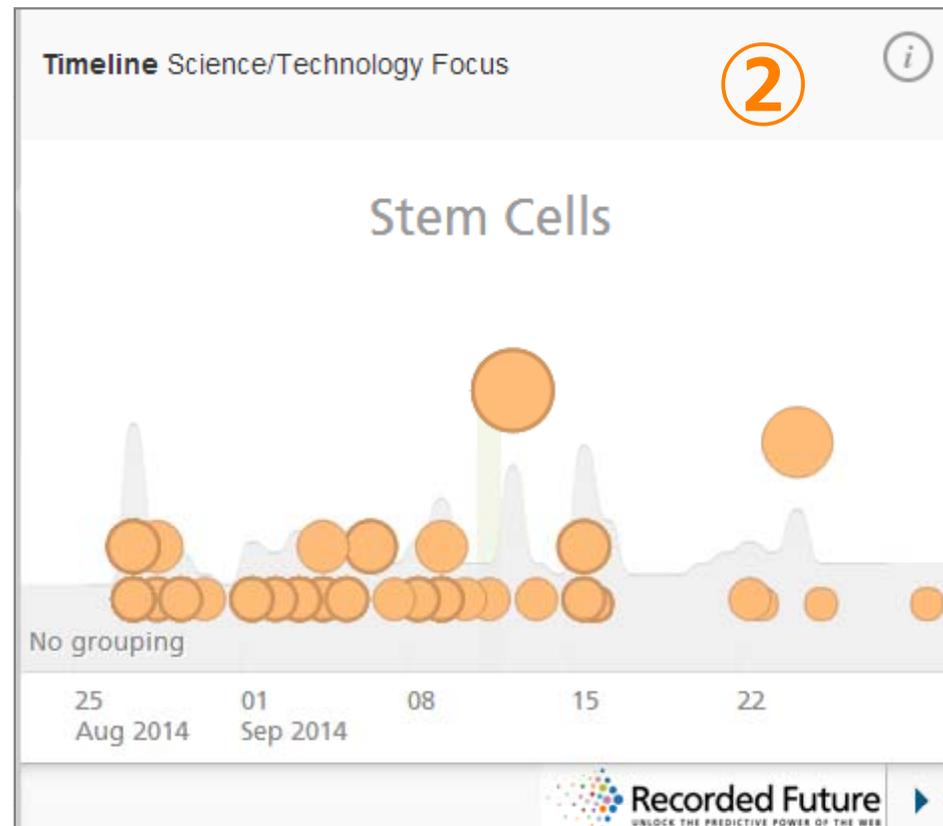


News Feed University of Tokyo ①

Apr 14, 2014
Japan, Miura, Misaki Marine Biological Station and
...2 Misaki Marine Biological Station, University of Tokyo,
Miura, Japan.
16 hours ago - MedWorm

Apr 14, 2014
Daisuke Miyoshi, University of the Arts and
Daisuke Miyoshi (L), a part-time instructor at Tokyo
University of the Arts, collects 8-millimeter f...
19 hours ago - PhotosKyodo News

Recorded Future
UNLOCK THE PREDICTIVE POWER OF THE WEB



InCites B&A ソースデータ

項目	内容
収録対象のWeb of Scienceのファイル	Web of Science Core Collection SCI, SSCI, A&H, CPCI,CPCI-H BKCI,BKCI-H
被引用文献のWeb of Scienceのファイル	Web of Science Core Collection ALL
ドキュメントタイプ	ALL Document Type
出版年	2004-2013 *拡張の予定
期間の設定	各年・累計
収録国	240
収録機関	4,200

はじめに - URAと研究分析

第一部：研究戦略の立案・評価・分析の手法と事例

第二部：学内の研究データのマネジメントの手法と事例

大学における研究データマネジメントの課題

- ✓ 学内で各種データ（論文データ、人事データ、科研データ）がバラバラに点在し、一括管理が出来ない
- ✓ 予算管理（財務把握状況）と実績（教員が使用しているデータ）が連動しておらず、進捗状況がわからず年度末に予算が足りない／余る
- ✓ 各種のデータの更新が煩雑でめんどろ、教員が更新してくれない
- ✓ 大学で指定した「分野」で学内の状況を分析したい
- ✓ 研究プロジェクトの申請状況や、プロジェクトの進捗を管理したい
- ✓ IR(Institutional Research)の取り組みを行いたいが、どこから手を付けてよいかわからない
- ✓ 学内で集めた論文情報とInCites等の引用指標を紐づけて活用したい

Thomson Reutersによる研究データマネジメントソリューション



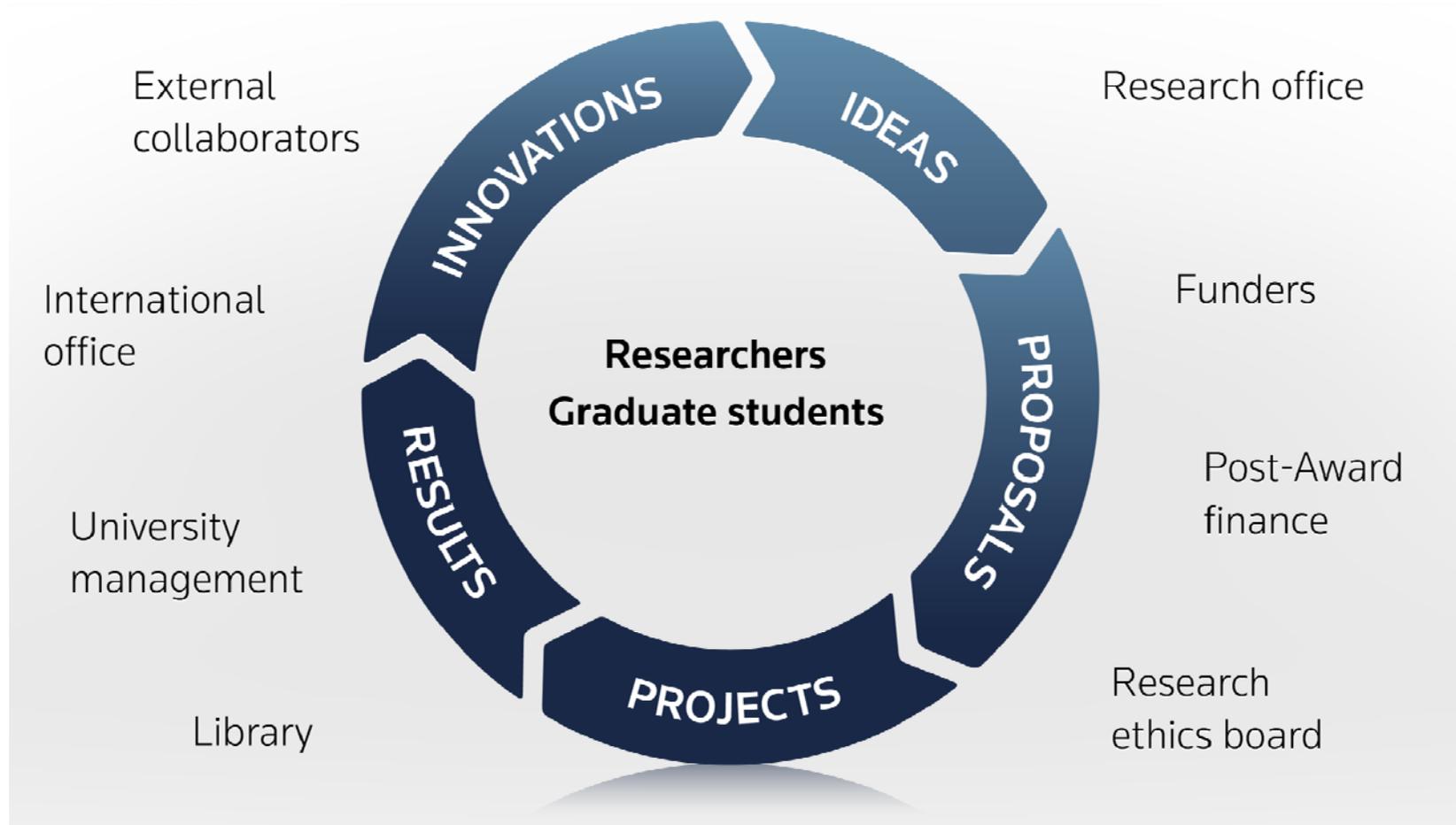
研究データのマネジメントとは

- **よりよい経営情報:** 研究者のCV、共同研究、論文の発行状況と計量書誌学的評価、研究プロジェクトとその応用、研究データ等々…さまざまな情報を**学内**における経営的判断や、**学外**からの要求に活用
- **情報発信力の強化:** **インターネットを通じて**、大学の学部や研究者、その研究活動と成果について情報を発信
- **効率性の向上:** さまざまな研究情報を**管理する仕組み**を整理・効率化し、研究者や管理者の業務負担を軽減
- **システムの柔軟性:** **変化する学内のニーズ**に柔軟に対応するため、システムベンダーを介さずに設定を変更することを可能に



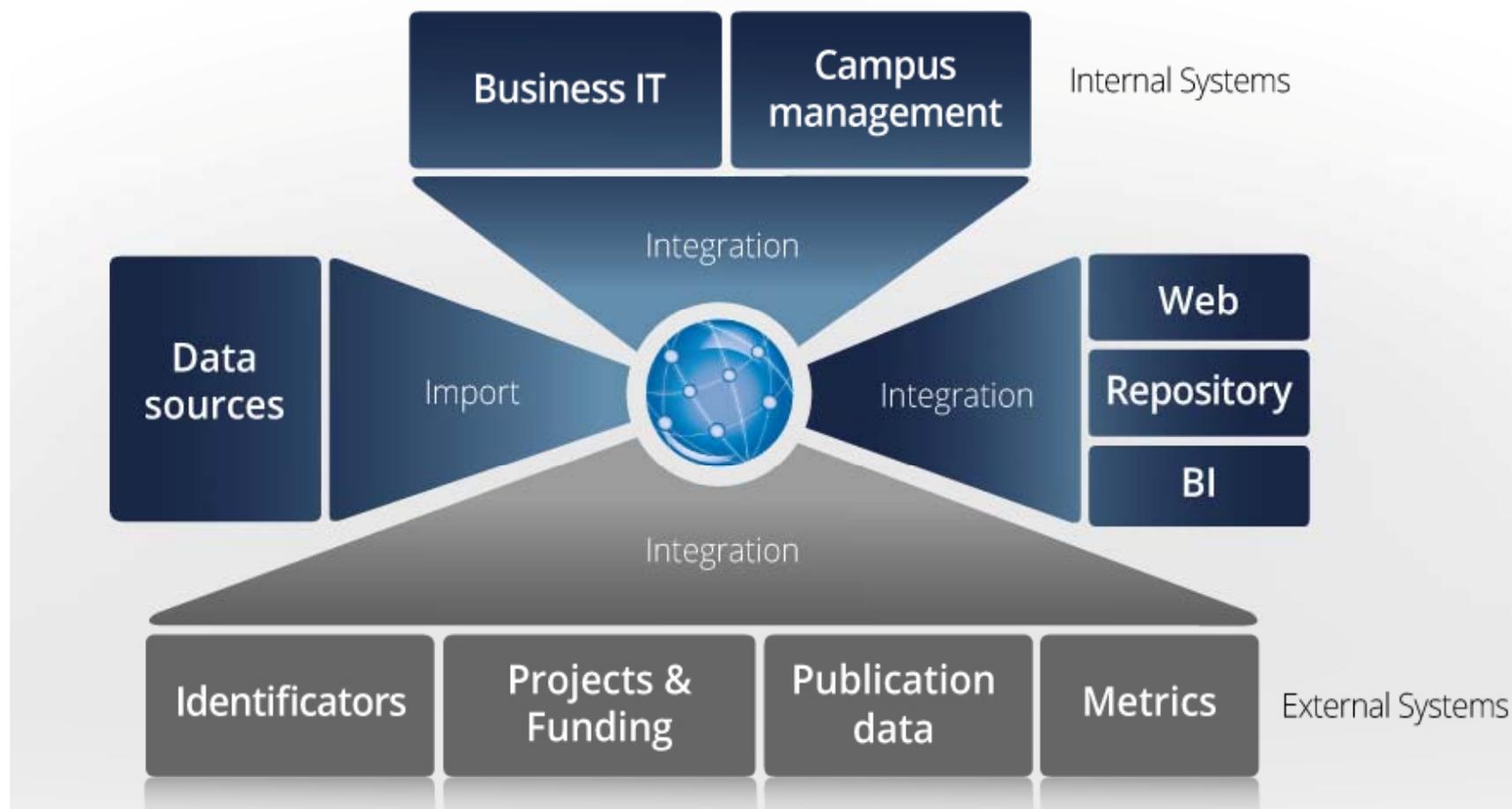
トムソン・ロイターの研究データ マネジメントソリューション

研究のアイデアから提案、共同研究、成果論文、さらなるアイデアの創出まで、研究のエコシステムに関わる情報とワークフローをトータルに支援

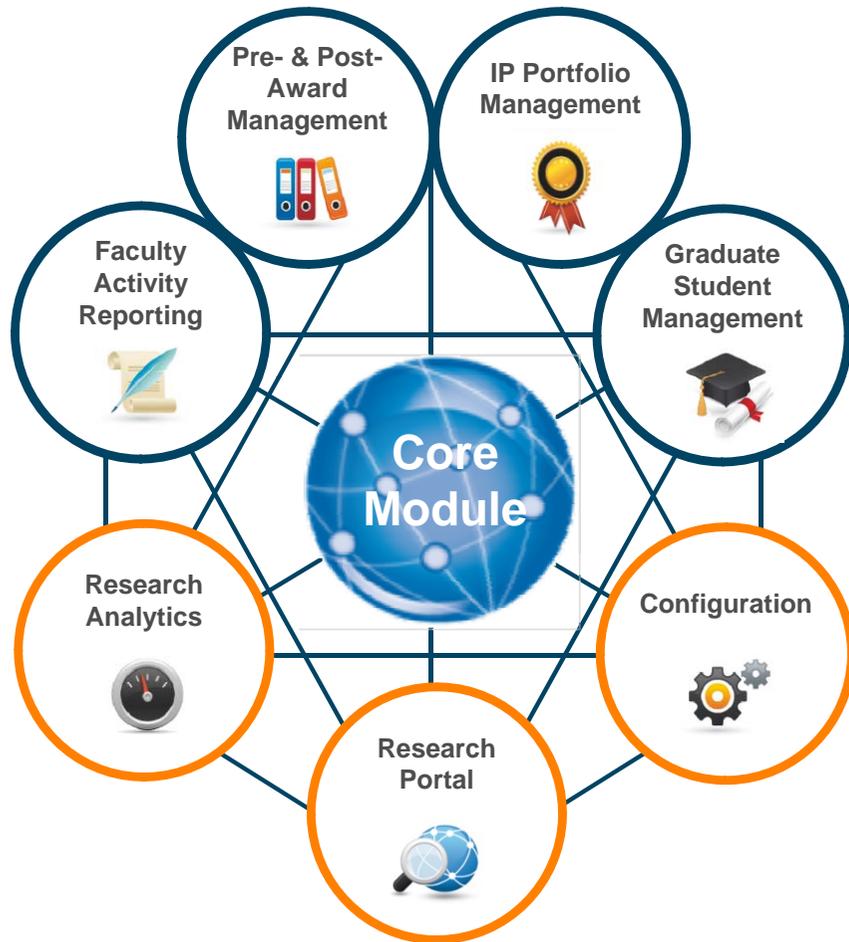


トータルなデータ統合を実現します

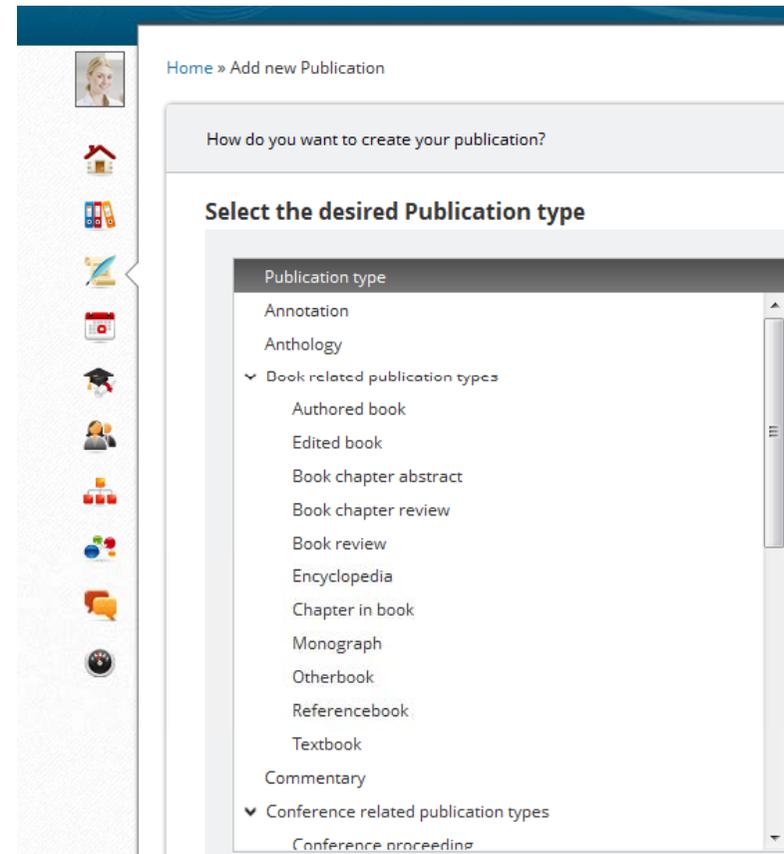
学内の人事、財務システムをはじめ、さまざまなシステムを一元管理
データを統合し、重複入力を排除、効果的なレポーティングを可能に



組み合わせ自由な各種モジュール



-  Application Modules
-  Functional Modules



各種モジュールを柔軟に組み合わせ、
関係者のワークフローを効果的につなぐ

InCitesへの統合イメージ

Web of Science® InCites™ Journal Citation Reports® Essential Science Indicators EndNote® Research Portal Help My Settings Logout

CONVERIS
Research Information System

THOMSON REUTERS™

Scott M. J. Matheson, PH.D.
Researcher

Dashboard Analytics **Converis**

Dashboard
Data last updated 9/26/2013

Search this set...

Notifications

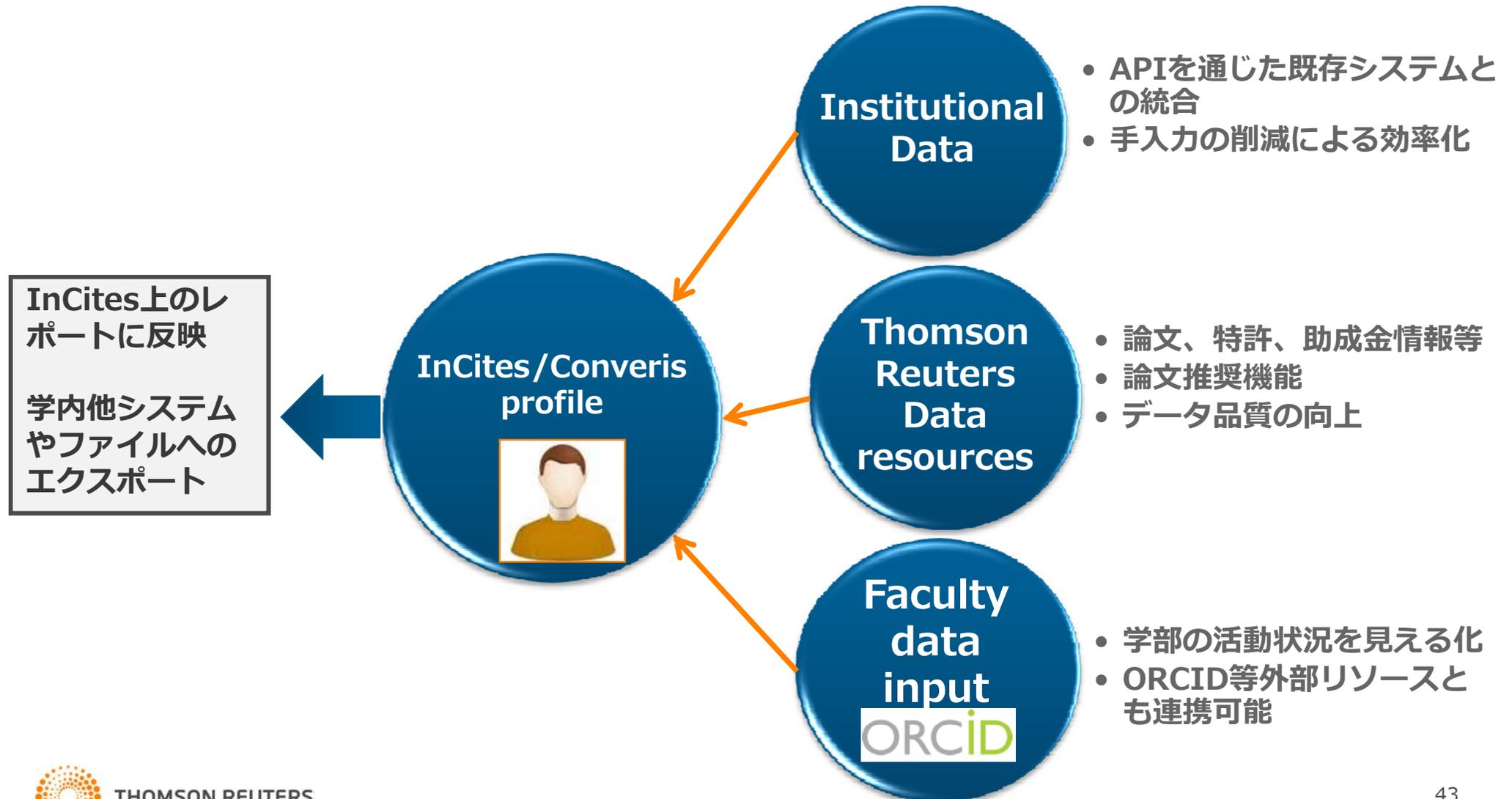
- A Tubular Goodbye for Fluorescent Light Bulbs**
If you've worked in an office, you're probably familiar with the soft glow of fluorescent tubes drifting from the ceiling. If Europ...
The New York Times, Sep 26, 2013
- Collegiate Ingenuity: MIT Graduates Are Hitting The Ground and Running**
consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt u...
Popular Mechanics, Sep 26, 2013
- Can Nickles Save The World?**
Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat c...
Article Source, Sep 26, 2013

[View All News Articles](#)

Things to do

Task	Count
Publications for completion	366
Further information for application	380
Patents for completion	440
Projects for completion	480
Ethic reviews for completion	452

Total





お問い合わせ：
トムソン・ロイター
Tel: 03-4589-3102

Email : japan.ssrage@thomsonreuters.com